

【ニューヨーク】加來恵（それぞれニューヨークは禁止条約を重要な案來恵子）日本原水爆被の国連日本代表部を訪問し、日本政府が核兵器問題に署名・批准するよう要請しました。止日本協議会の安井正和事務局長をはじめとする6人は11月29日、日本被團協の木戸事務局長ら4人と原水爆禁止条約に署名・批准するよう要請しました。



④志野大使（中央）に要請する日本被團協のメンバー=11月29日、ニューヨーク
⑤志野大使（中央）に声明などを手渡す日本原水協の安井事務局長（右から3人目）と同代表団=11月29日、ニューヨーク

被團協と原水協が 国連代表部へ要請

日本領事館前で禁止条約に参加するよう
求める日本原水協や被爆者の人たち=11
月30日、ニューヨーク（加來恵子撮影）

核兵器禁止条約に日本も参加を 国連代表部へ要請

が参加しました。

一方、原水爆禁止日本協議会の安井事務局長ら6人は、核兵器禁止条約第2回締約国会議への声明などを手渡し、会議には多くの国

が参加し、78年前の広島と長崎を繰り返さないためにも禁止条約が重要だと述べ、被爆者の声に耳を傾けている

と紹介しました。日本



【ニューヨーク】加來恵（さくらいけい）は、核兵器禁止条約第2回締約国会議に参加している日本被團協の木戸事務局長（左から3人目）と同代表団=11月30日、ニューヨーク（加來恵子撮影）

日本領事館前で禁止条約に参加するよう求めたアピール行動を現地の平和団体マンハッタン・プロジェクトと行いました。

掘被害者らも参加しました。二ユーメキシコのウラン採掘被害者らも参加しました。

は、放射能を含む「黒い雨」による被害者救済を求めた裁判で勝訴したが、まだ救済されていない人がいると訴えました。

全労連の石川敏明副議長は、「日本政府は会議に参加して傍聴すべきだ」と訴えました。

東京学生平和ゼミナールの田原ちひろさんは、条約

NY原水協や現地市民アピール

参加を求めて署名を集め、外務省にも要請してきたことを紹介。「日本政府の禁止条約参加は道徳的義務だと思います」と語りました。

二ユーメキシコの先住民や核兵器のない世界を求め、世界が平和に向かって議論していることがわかると述べ、「日本は米国だけを見るのはなく、世界の国の声に耳を傾けるべきだ」と訴えました。

米国人のローズマリーさんは、「米国人として、広島長崎におわびします」と語り、日本政府に条約参加をするよう働きかけようと呼んでいました。

参画者は日本領事館に向かって「日本政府は締約国に参加せよ」「アメリカの核の傘はいらぬ」「軍拡よりのちと暮らしを」「ノーモアヒバクシャ」などとコールし、アピールしました。



が参加しました。日本被團協の木戸事務局長ら6人は、核兵器禁止条約第2回締約国会議への声明などを手渡し、会議には多くの国が参加し、78年前の広島と長崎を繰り返さないためにも禁止条約が重要だと述べ、被爆者の声に耳を傾けていると紹介しました。日本

が参加しました。算収智之代表委員、金本弘代表理ザーバー参加するべきだと迫りました。